“BRIDGE”一宮南の探究　ルーブリック評価項目

資質能力	S	A	B	C
思考力 ＜①課題解決力＞	根拠に基づいて現状や物事を分析・整理し、課題に対して、自分の生活とつなげて捉えており、自ら解決する手立てを考え、適切な提言をすることができる。	根拠に基づいて現状や物事を分析・整理し、課題に対して、自分の生活とつなげて捉えており、自ら解決する手立てを考え、提言をすることができる。	課題に対して、自分の生活とつなげて捉えており、自ら解決する手立てを考えている。	課題に対して、自分の生活とつなげて捉えておらず、自ら解決する手立てを考えていない。
思考力 ＜②情報収集・活用力＞	SDGsの目標達成の解決のための先行研究や企業活動などの複数の情報を収集し、分析・活用をもとに考察することができる。	SDGsの目標達成の解決のための先行研究や企業活動などの複数の情報を収集し、整理・関連づけることできる。	SDGsの目標達成の解決のための先行研究や企業活動などの複数の情報を収集することができる。	SDGsの目標達成の解決のための先行研究や企業活動などの情報を収集することができていない。
発信力	課題解決のための、適切な提言を社会の一員として学校内に留まらず、地域社会などへ発信することができる。	十分に効果的な表現方法で、自分の提言や意見を情報の受け手になって伝えることができる。	効果的な表現方法で、自分の提言や意見を情報の受け手になって伝えることができる。	効果的な表現方法で、自分の提言や意見を情報の受け手になって伝えることができない。
創造力	物事を独創的に考え、実現可能な課題解決を見いだすことができる。	物事を独創的に考え、課題解決の可能性を見いだすことができる。	物事を独創的に考えているが、課題解決の可能性が不明確である。	物事を独創的に考えおらずが、課題解決の可能性も不明確である。
主体性	未経験の事柄や不得意な分野でも積極的に挑戦し、意欲的に学ぼうとする。	未経験の事柄や不得意な分野でも積極的に挑戦し、あきらめることがない。	様々な事柄に対して積極的に取り組むことができる。	様々な事柄に対して積極的に取り組むことができない。
協働力	自分と価値観や意見が異なる他者を理解して、課題解決のために、協働して活動に取組み、集団に良い影響を与えることができる。	自分と価値観や意見が異なる他者を理解して、課題解決のために、協働して活動に取組むことができる。	他者と協働して活動に取り組むことができる。	他者と協働して活動に取り組むことができない。
自己肯定力	自己の特性を認識し、未来において自分自身ができる可能性を理解し、自信を持って、自分自身の意見を他者に語ることができる。	自己の特性を認識し、未来において自分自身ができる可能性を理解し、自分自身の意見を他者に語ることができる。	自己の特性を認識し、社会の一員として、自身が持つ可能性について考えることができる。	自己の特性を認識できず、社会の一員として、自身が持つ可能性について考えることができない。